



JASDAQ

2019年9月13日

各 位

上場会社名 株式会社明豊エンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 梅木 隆宏
(JASDAQコード 8927)
問合わせ先 取締役常務執行役員 安田 俊治
管理部長
(電話番号 03-5434-7653)

(訂正)「平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成30年3月15日に開示いたしました「平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部について訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2019年9月13日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月15日

上場会社名 株式会社明豊エンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 8927 URL http://www.meiho-est.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)梅木 隆宏
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理部長 (氏名)安田 俊治 (TEL)03(5434)7653
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第2四半期の連結業績(平成29年8月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	6,333	92.5	1,325	355.9	1,255	464.5	1,118	466.7
29年7月期第2四半期	3,290	171.3	290	—	222	—	197	—

(注) 包括利益 30年7月期第2四半期 1,122百万円(459.9%) 29年7月期第2四半期 200百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	45.80	—
29年7月期第2四半期	8.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年7月期第2四半期	9,256	3,119	33.6
29年7月期	7,916	2,464	31.0

(参考) 自己資本 30年7月期第2四半期 3,107百万円 29年7月期 2,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年7月期の連結業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	101.4	2,470	265.4	2,300	327.5	1,850	144.8	77.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年7月期2Q	24,661,000株	29年7月期	24,661,000株	
② 期末自己株式数	30年7月期2Q	1,047,160株	29年7月期	359株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年7月期2Q	24,421,697株	29年7月期2Q	24,660,641株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中で、個人消費の持ち直しや好調な企業収益を背景に景気の回復基調は継続しております。一方、海外経済においては経済・金融政策に関する不確実性による影響などに留意する必要があるとあり、引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する不動産業界においては、地価の上昇基調が継続する中で、販売価格の高騰が懸念されたものの、日銀の金融緩和政策を背景に実需は底堅い動きを示しており、事業環境は概ね良好であります。

このような事業環境下、当社グループは、既存の保有資産について最善と思われる出口戦略・販売計画を実行し、収益性の維持と早期回収を睨みながら財務基盤の安定に努めるとともに、収益不動産及び新規事業等の用地仕入・開発・販売活動を積極的に進め、当第2四半期連結会計期間におきまして、「ミハス浦安」（千葉県浦安市）、「ミハス市川」（千葉県市川市）、「ミハス三軒茶屋」（東京都世田谷区）、「ミハス西落合」（東京都新宿区）など都心近郊におきまして4棟の引渡しを完了いたしております。また、中古物件リニューアル再販事業として、京都府京都市中京区において共同住宅を宿泊施設にコンバージョンし、引渡しをいたしております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は63億33百万円（前年同四半期比92.5%増）、営業利益13億25百万円（前年同四半期比355.9%増）、経常利益12億55百万円（前年同四半期比464.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億18百万円（前年同四半期比466.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[不動産分譲事業]

不動産分譲事業においては、アパート開発事業である「MIJAS（ミハス）」シリーズを4棟売却、中古物件リニューアル再販事業において1棟の引渡しを行いました。その結果、売上高は52億5百万円（前年同四半期比134.7%増）、セグメント利益は12億87百万円（前年同四半期比377.6%増）となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業においては、プロパティーマネジメント報酬等により、売上高は9億62百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益は1億1百万円（前年同四半期比42.1%増）となりました。

[不動産仲介事業]

当第2四半期連結累計期間において、不動産仲介事業における仲介報酬等の発生はありません。

[請負事業]

請負事業につきましては、工事請負の施工及びリフォーム工事等により、売上高は1億61百万円（前年同四半期比53.9%増）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比107.2%増）となりました。

[その他]

その他につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険代理業等により、売上高は16百万円（前年同四半期比38.4%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比39.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、13億40百万円増加し、92億56百万円となりました。これは、新規開発事業用地・中古マンション等再販事業物件等の取得により販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合計で7億14百万円増加したこと、事業用資金の貸付けが4億75百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債においては、前連結会計年度末に比べ6億84百万円増加し、61億37百万円となりました。これは、物件売却等に伴う返済によって短期借入金が10億2百万円減少いたしましたが、新規開発事業用地等の取得資金として、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。以下同様。）が13億77百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産においては、前連結会計年度末に比べ6億55百万円増加し、31億19百万円となり、自己資本比率においては、前連結会計年度末より2.6ポイント好転し、33.6%となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間末に比べ2億21百万円増加し、15億99百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益により12億55百万円増加、たな卸資産の増加により7億15百万円減少したこと等により、6億48百万円の収入(前年同四半期連結累計期間は15億85百万円の支出)となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、事業用資金の貸付けにより4億75百万円減少したこと等により、4億74百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は6百万円の収入)となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、開発事業用地等取得のための資金として、長期借入金が21億92百万円増加したものの、自己株式を取得したことにより4億67百万円減少し、また、物件売却等に伴い短期借入金が10億2百万円及び長期借入金が8億14百万円それぞれ返済によって減少したこと等により、1億2百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は19億33百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の連結での業績予想につきましては、本日(平成30年3月15日)に公表いたしました「平成30年7月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,558,814	1,632,970
売掛金	40,502	105,397
販売用不動産	1,008,169	2,413,994
仕掛販売用不動産	4,536,114	3,844,680
繰延税金資産	337,709	340,387
その他	123,848	609,495
貸倒引当金	<u>△549</u>	<u>△2,967</u>
流動資産合計	<u>7,604,609</u>	<u>8,943,957</u>
固定資産		
有形固定資産	13,577	16,143
無形固定資産	3,434	3,076
投資その他の資産		
投資有価証券	55,308	59,949
長期貸付金	436,964	430,408
長期未収入金	<u>424,400</u>	<u>423,100</u>
その他	227,669	228,113
貸倒引当金	<u>△849,400</u>	<u>△848,100</u>
投資その他の資産合計	<u>294,941</u>	<u>293,471</u>
固定資産合計	<u>311,953</u>	<u>312,691</u>
資産合計	<u>7,916,563</u>	<u>9,256,648</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,762	181,509
短期借入金	2,779,200	1,776,705
1年内返済予定の長期借入金	1,273,266	2,010,116
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	695	532
未払法人税等	2,825	139,504
賞与引当金	34,270	18,802
その他	311,608	513,294
流動負債合計	4,601,627	4,660,465
固定負債		
長期借入金	552,912	1,193,304
社債	70,000	60,000
リース債務	180	-
その他	227,542	223,434
固定負債合計	850,634	1,476,738
負債合計	5,452,262	6,137,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,582,685	1,495,610
利益剰余金	754,192	1,872,588
自己株式	△485	△380,474
株主資本合計	2,436,391	3,087,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,637	19,662
その他の包括利益累計額合計	16,637	19,662
非支配株主持分	11,271	12,057
純資産合計	2,464,300	3,119,444
負債純資産合計	7,916,563	9,256,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	3,290,284	6,333,489
売上原価	2,571,412	4,525,694
売上総利益	718,871	1,807,795
販売費及び一般管理費	428,028	481,934
営業利益	290,842	1,325,860
営業外収益		
受取利息	247	5,400
違約金収入	458	-
貸倒引当金戻入額	1,500	1,300
ポイント引当金戻入益	552	-
その他	971	986
営業外収益合計	3,730	7,686
営業外費用		
支払利息	43,347	49,805
支払手数料	24,655	26,988
その他	4,125	1,158
営業外費用合計	72,128	77,952
経常利益	222,444	1,255,593
税金等調整前四半期純利益	222,444	1,255,593
法人税、住民税及び事業税	2,488	139,518
法人税等調整額	21,254	△3,106
法人税等合計	23,743	136,411
四半期純利益	198,700	1,119,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,360	786
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,340	1,118,395

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	198,700	1,119,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,727	3,025
その他の包括利益合計	1,727	3,025
四半期包括利益	200,427	1,122,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,067	1,121,421
非支配株主に係る四半期包括利益	1,360	786

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,444	1,255,593
減価償却費	2,365	2,417
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,591	1,118
受取利息及び受取配当金	△267	△5,419
支払利息及び社債利息	43,347	49,986
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,082	△15,467
売上債権の増減額(△は増加)	16,983	△64,894
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,733,848	△715,118
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,375	1,747
前受金の増減額(△は減少)	554	178,093
預り金の増減額(△は減少)	△34,663	35,323
その他	42,024	△27,904
小計	△1,491,109	695,475
利息及び配当金の受取額	267	150
利息の支払額	△48,591	△47,549
法人税等の支払額	△46,118	△3,064
法人税等の還付額	102	3,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,585,450	648,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他預金等の預入による支出	△5,282	△2,380
その他預金等の払戻による収入	15,930	-
ゴルフ会員権の取得による支出	△1,888	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,440	△5,023
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	253
貸付けによる支出	-	△475,000
貸付金の回収による収入	843	7,876
出資による支出	△30	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,131	△474,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,768,775	△1,002,494
リース債務の返済による支出	△323	△342
長期借入れによる収入	1,194,000	2,192,200
長期借入金の返済による支出	△1,127,350	△814,958
社債の償還による支出	-	△10,000
社債の発行による収入	100,000	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,000	-
自己株式の取得による支出	-	△467,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,933,101	△102,658
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	353,783	71,775
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,653	1,528,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,378,437	1,599,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月22日開催の取締役会決議により、当社定款第11条の6の規定に基づき、自己株式8,707株を取得したため、当第2四半期連結累計期間において自己株式が87,074千円増加いたしました。

また、平成29年6月22日開催の取締役会決議に基づき、平成29年8月1日付で自己株式8,707株の消却を実施したため、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ87,074千円減少いたしました。

さらに、平成29年12月15日開催の取締役会決議に基づき、平成29年12月18日付で自己株式1,046,800株を取得したため、当第2四半期連結累計期間において自己株式が379,988千円増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が87,074千円減少、自己株式が379,988千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,495,610千円、自己株式が380,474千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注3)	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	不動産分譲 事業	不動産賃貸 事業	不動産仲介 事業	請負事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	2,218,281	933,115	35,131	91,721	3,278,250	12,034	3,290,284	—	3,290,284
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	10,046	—	13,344	23,391	—	23,391	△23,391	—
計	2,218,281	943,161	35,131	105,066	3,301,641	12,034	3,313,675	△23,391	3,290,284
セグメント利益	269,530	71,538	33,230	7,439	381,738	11,592	393,331	△102,488	290,842

(注) 1. セグメント利益の調整額 △102,488千円は、セグメント間取引消去 △5,124千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △97,364千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注3)	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	不動産分譲 事業	不動産賃貸 事業	不動産仲介 事業	請負事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	5,205,490	962,224	—	149,124	6,316,839	16,650	6,333,489	—	6,333,489
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	12,615	12,615	—	12,615	△12,615	—
計	5,205,490	962,224	—	161,740	6,329,454	16,650	6,346,105	△12,615	6,333,489
セグメント利益	1,287,244	101,628	—	15,417	1,404,289	16,157	1,420,447	△94,586	1,325,860

(注) 1. セグメント利益の調整額 △94,586千円は、セグメント間取引消去 3,846千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △98,433千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。